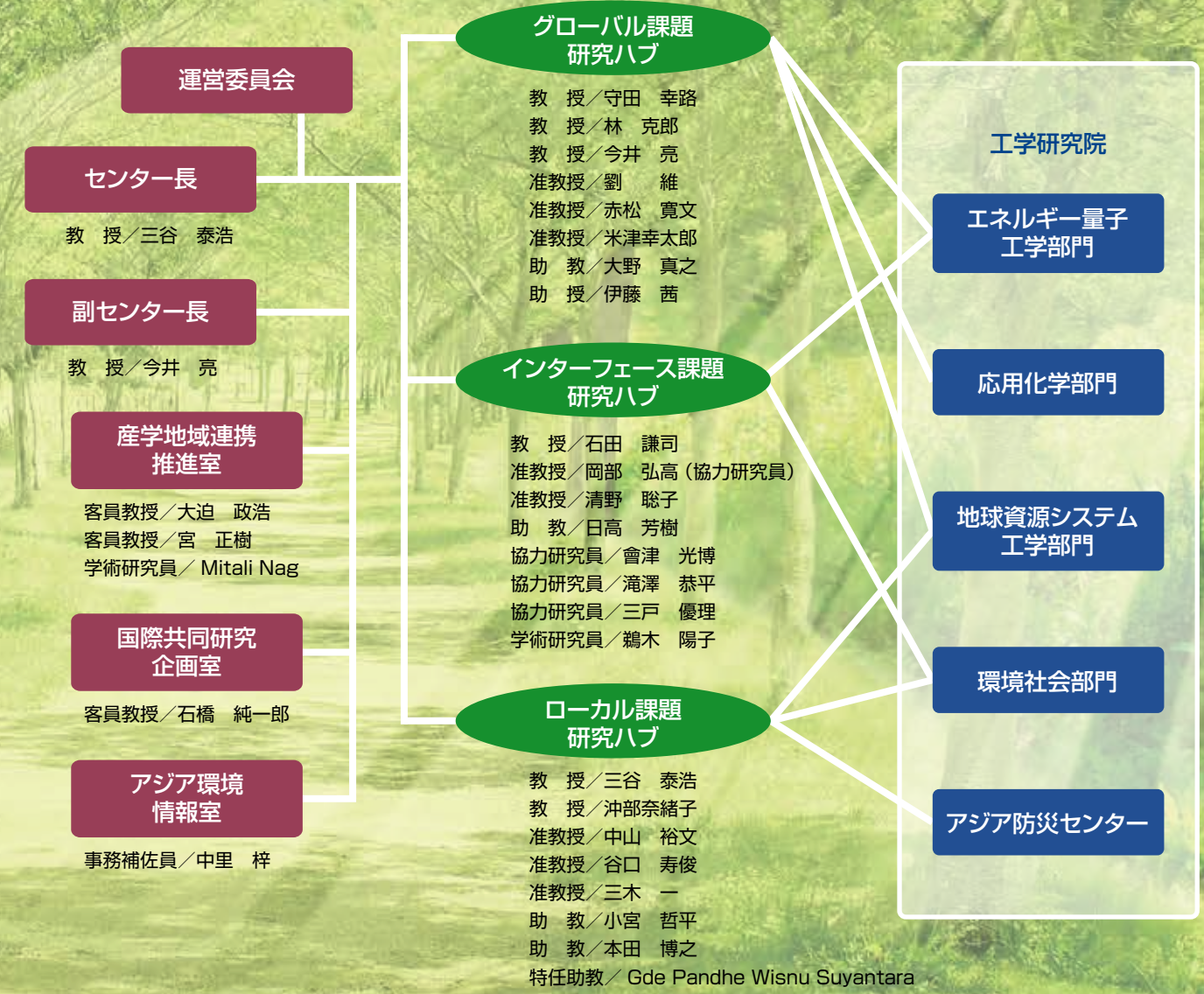


# Organization 本附属センターの 組織



(2023年5月1日現在)

## Access map 本附属センターへの アクセス



附属環境工学研究教育センター (CE40棟)

### ▶ 附属環境工学研究教育センター周辺地図 伊都キャンパス



### ▶ 公共交通機関の利用

**【福岡空港から】**  
地下鉄+JR+昭和バス:  
福岡空港駅(地下鉄空港線, 約25分)→姪浜駅で乗り換え(直通列車の場合乗り換え不要)→(JR筑肥線, 約8分)→九大学研都市駅(昭和バス・九大工学部前行, 約15分)→九大工学部前バス停

**【博多駅から】**  
地下鉄+JR+昭和バス:  
博多駅(地下鉄空港線, 約19分)→姪浜駅で乗り換え(直通列車の場合乗り換え不要)→(JR筑肥線, 約8分)→九大学研都市駅(昭和バス・九大工学部前行, 約15分)→九大工学部前バス停

**西鉄バス:**  
博多駅前(A)バス停→(西鉄バス・九大伊都キャンパス行, 約58分)→九大工学部前バス停

**【天神から】**  
地下鉄+JR+昭和バス:  
天神駅(地下鉄空港線, 約13分)→姪浜駅で乗り換え(直通列車の場合乗り換え不要)→(JR筑肥線, 約8分)→九大学研都市駅(昭和バス・九大工学部前行, 約15分)→九大工学部前バス停

**西鉄バス:**  
天神ソラリアステージ前(2B)バス停→(西鉄バス・九大伊都キャンパス行, 約45分)→九大工学部前バス停



九州大学大学院工学研究院  
附属環境工学研究教育センター

〒819-0395 福岡市西区元岡744番地  
TEL: 092-802-3560 FAX: 092-802-3561  
http://www.creet.kyushu-u.ac.jp/  
E-mail: office@creet.kyushu-u.ac.jp

# Center for Research and Education of Environmental Technology

Faculty of Engineering, Kyushu University

九州大学大学院工学研究院  
附属環境工学研究教育センター



http://www.creet.kyushu-u.ac.jp/

Think Our Future

明るい未来のために、いま私たちにできること、やらなければならないこと…。



## 21世紀の地球環境の解決を目指した 創造的研究とその国際的拠点

### What is?

#### 附属環境工学研究教育センターとは

現代の高度な科学技術文明を築く上で工学は大きな役割を果たしてきました。しかし、現在、地球環境問題が人類社会に対する大きな制約として登場してきています。こうした状況において、資源・エネルギーの制約、地球規模での環境変動などのさまざまな問題を克服し、環境と調和した人類社会の発展を可能にする新しい技術文明を創造する必要があります。このため、環境への負荷の小さな循環・共生型社会システムの実現、環境的に安全な資源エネルギーの開発・利用、資源の循環的利用技術など、地球環境問題の解決を目指した創造的な研究・技術開発を行います。

本附属センターは、地球環境問題に関連した工学研究の分野において中心的役割を果たすとともに、九州大学の地理的特性を生かし、広く東アジア地域を視野においた国際的研究拠点となることを目指します。



附属環境工学研究教育センターの研究領域

## Purpose of research 本附属センターにおける 研究の目的



#### 循環型社会を目指した技術開発

大量生産、消費に伴い発生する廃棄物による環境への負担を低減化し、循環型社会を実現するためのシステムの研究や要素技術の開発を行います。



#### 地球規模の視点に立った環境対策技術の評価と提言

人類を含むあらゆる生物にとって快適な地球環境を維持できる社会システムを提案することを最終目標として、経済、技術、自然環境の状況に応じて最適な具体的方策を研究し、提言していきます。



#### 学際的・先導的研究の展開

地球レベルでの大きな問題解決という視点にたち、伝統的な対象分野ごとに縦割りされがちな学問体系を、横断的に結合させた学際的研究を先導的にを行います。



#### 国際的ニーズに対応できる研究組織の整備

特にアジア諸国に適応可能な環境対策技術の開発に取り組むとともに、国際共同研究等を通じて、アジアにおける各種環境問題の研究の中核的機関としての機能を強化します。



#### 地域における共同研究拠点としての組織

外部との共同研究や、技術援助、諮問、助言などの産学官の連携協力を積極的に進めます。



#### 地球規模での問題解決に取り組む若手研究者の育成

環境に関する高度な教育を受けた技術者、研究者を養成するとともに、地球環境問題に国際的に貢献する人材を育成します。



#### 環境に関する情報中枢機能の発揮

環境に関する国内外の先導的な研究動向や技術情報を収集・分析し、独自の研究成果とともに外部に発信します。

## Research & Development 本附属センターにおける 研究の内容

<b>グローバル課題研究</b>	<b>地球環境問題 等</b> 地球温暖化や異常気象、更に、エネルギーや資源の枯渇問題が全世界的に大きな影響を及ぼす事が懸念されています。このような課題について、全地球的な本来あるべき状態の検証、異常事態が現在どの様に進行しているかについての把握を行い、世界全体として必要な方策の検討、および、その為の技術開発を行います。
<b>インターフェース課題研究</b>	<b>大気循環、海洋循環、越境環境問題 等</b> 一部地域において発生した汚染物質が大気や海流の広範な流れにより運搬・拡散され世界規模で環境汚染問題を引き起こす様に、ローカルとグローバルをつなぐインターフェース機構が存在します。この様な点に着目し、資源、エネルギー、環境に関わるグローバル・ローカル連携機構の解明とその利用に関する技術開発を行います。
<b>ローカル課題研究</b>	<b>地域環境問題、エネルギー・資源問題 等</b> 生活廃棄物や産業廃棄物は、廃棄物が発生した各々の地域において適切に処分される必要があります。また有用地下資源は、様々の異なる状況下にある世界各地に偏在しています。このような状況が異なる各地域において発生する問題に対し、地域の状況に即して対処するための状況分析、その解決をはかるための技術開発を行います。
<b>アジア環境情報室</b>	アジア諸国に関連するデータの体系的収集・整理・提供を行います。